

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目におきましては現行試薬の発売中止のため、本年7月1日(水)より同一メーカーの改良試薬に変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内させていただきます。

なお、本改良試薬では、血清で検査可能になるとともに必要検体量を大幅に減らすことが可能となりました。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 変更内容

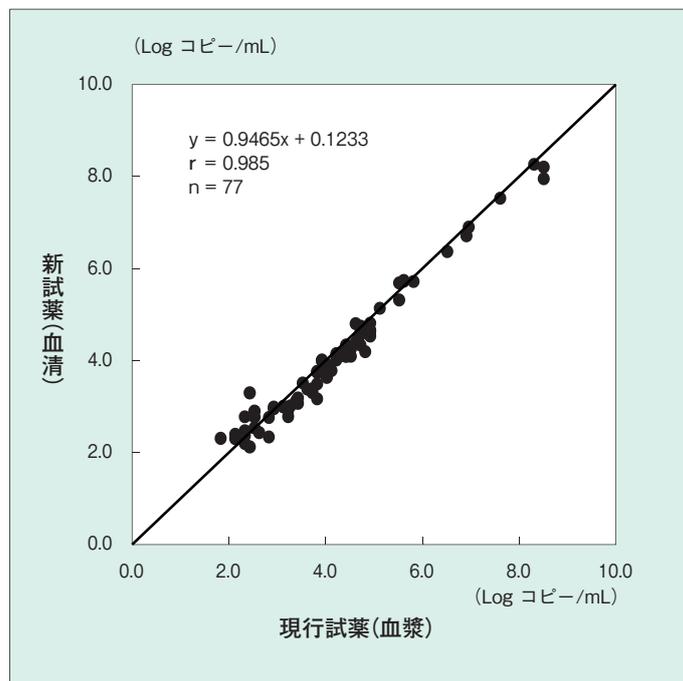
##### ● [8946] HBV-DNA定量 《TaqManPCR法》

変更内容	新	旧
検体量	血清 2.2mL <sup>*1,2</sup>	EDTA-2K血漿 3.5mL <sup>*1</sup> (血清検体不可)
容器	容器番号：62番 ウイルス遺伝子検査専用容器 (血清)	容器番号：80番 TaqManPCR法用容器 (血漿)
基準値	定量結果：2.1Logコピー/mL未満 (定量下限) 増幅シグナル：検出せず	定量結果：1.8Logコピー/mL未満 (定量下限) 増幅シグナル：検出せず
上限値	9.0Logコピー/mL以上	8.8Logコピー/mL以上
備考	*1：必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。 (同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複は避けて下さい) *2：血漿材料での測定も可能です。血漿でご提出される際は、従来通り容器番号80番にて血漿2.2mLご提出下さい。	*1：必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。 (同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複は避けて下さい) 血清検体は測定不可。

#### 変更期日

##### ● 平成21年7月1日(水) 受付日分より

## 新旧二法の相関



(社内検討データ)

## 専用採血管

ウイルス遺伝子検査用容器  
(分離剤入り、容器番号:62番)



採取量 5mL

保管方法 室温

有効期限 1年

### 【検体の取扱い】

- ①専用の真空採血管(容器番号:62)を使用し、採血、ご提出下さい。
- ②採血後、4～5回静かに転倒混和し、室温にて30分～60分放置して下さい。
- ③凝固完了を確認後、遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出(凍結融解不可)下さい。

※未分離凍結検体、溶血検体では抽出効率の低下、遺伝子増幅阻害等によるデータへの影響が考えられます。